

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2016年3月11日金曜日 0:10
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2016年3月10日発行
添付ファイル: ●中部産遺研第139定例研究会レジメ2016 3 9.pdf; 2016.3.12「おおぶ再発見講座」案内.pdf

////////////////////////////////////
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2016年3月10日発行 /
/ //////////////////////////////////////

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【 CONTENTS 】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 中部産業遺産研究会 第139回定例研究会のご案内【New】
- 【3】 「おおぶ再発見講座」のご案内【New】
- 【4】 「第2回さんぎ大学 講話会」のご案内【再送】
- 【5】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第44回／杉本漢三【New】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第139回例会 2016/3/20(日) 13:00～ 緑生涯学習センター 第2／3集会室
- 小見学会 2016/3/29(火) 「岐阜県神坂(みさか)風穴」 10:30頃 JR中央本線恵那駅集合
(小雨決行・荒天中止・詳細は添付のレジメを参照して下さい)
- 第24回(2016年度)総会・第140回例会 2016/05/29(日) 13:00～
大同大学滝春校舎本館 14階交流会室
- 第141回例会 2016/7/24(日)または31(日) 13:00～ (会場未定)
- 第142回例会/見学会 2016/09/25(日) 13:00～ 新美南吉生家・半田赤煉瓦建物
(旧カプトビール工場)・旧中埜家住宅
(詳細は添付のレジメを参照して下さい)
- 第143回例会/パネル展講演会 2016/11/27(日) 13:00～ 名古屋市都市センター予定

【2】 中部産業遺産研究会 第139回定例研究会のご案内【New】

下記の通り中部産業遺産研究会 第 139 回定例研究会を開催致しますので会員の皆様にご案内致します。

日 時 : 2016 年 3 月 20 日 日曜日 午後 1 時～ 5 時
会 場 : 名古屋市緑生涯学習センター 第 2・3 集会室

http://www.suisin.city.nagoya.jp/system/institution/index.cgi?action=inst_view&inst_key=1164771836

交 通 : 名鉄「鳴海」下車北東へ徒歩 5 分
市バス「花井」下車南東へ徒歩 8 分

地 図 :

<https://www.google.co.jp/maps/place/%E5%90%8D%E5%8F%A4%E5%B1%8B%E5%B8%82%E5%BD%B9%E6%89%80+%E7%B7%91%E5%8C%BA%E5%BD%B9%E6%89%80%E7%B7%91%E7%94%9F%E6%B6%AF%E5%AD%A6%E7%BF%92%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC/@35.0794177,136.9496133,17z/data=!3m1!4b1!4m2!3m1!1s0x60037c9b2eda11e7:0x2aa407c791eeeface?hl=ja>

駐車場はありますが、駐車可能な台数が限られますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

当日のレジュメをこのめーるに添付致しますので、詳しくはそちらをご覧ください。

【3】「おおぶ再発見講座」のご案内【New】

3月12日、13:30～15:00に大府市歴史民俗資料館会議室1にて、「第6回 おおぶ再発見！講座」として、「五箇村川の樋門」をテーマに、当会副会長の天野武弘先生が講演されます。

大府市東部を流れる五箇村川にある樋門は、歴史的建造物であり、近代土木遺産でもあります。樋門が果たした役割などについて天野先生が講演をされます。

詳細は、添付ファイルをご覧ください。

【4】「第2回さんぎ大学 講話会」のご案内【再送】

トヨタ産業技術記念館では、昨年に引き続き今年も「さんぎ大学 講和会」を開催します。第2回となる今回は、

「日本のタオル」ータオルのこだわりをプロが語るーと題して、産技館員のタオルソムリエ2人が、タオルの歴史、作り方、使い方について説明いたします。前回の電子メール版ニュースレターに添付の資料も参照ください。

第2回さんぎ大学 講話会 「日本のタオル」ータオルのこだわりをプロが語るー

主催：トヨタ産業技術記念館

日時：3月27日（日）15：00～

会場：産技館ホールA

定員：100名

参加費：無料

【5】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第44回／杉本漢三【New】

ラムフォードの熱運動説

熱の定義について、古代ギリシャから17世紀から18世紀まで「熱物質説」と「熱運動説」の二つが長く対立していた。アリストテレスから始まった「熱物質説」は、フランスの化学者・ラポアジエ(1743～1794)によって水素、酸素などの元素の一つとして『熱素』を加えて熱物質説を推し進めた。

しかし、中世ヨーロッパの哲学者ベーコン(1561～1626)が唱えていた熱運動説に、アメリカの物理学者B. J. ラムフォード(1753～1814)が1798年、ミューヘンの兵器工場で大砲の中ぐり作業において、砲身が短時間の内にかなり熱くなり、その削りくずは同じ

素材である銃身よりはるかに高い温度になるという現象に着目した。これは熱物質説では実証できなく、これは中ぐり器と砲身の間での摩擦によって熱が発生したと考え、水の中でこの中ぐり作業をしたら、水の温度は沸騰した。これらによって、「熱素」の出入りが無いのに熱が発生しており、「熱は物質ではなく、運動に関わるもので、熱と仕事の間に関係があること」を提唱した。しかし、19世紀半ばまでこの説は認められず、二つの説が存在し続けた。そして熱物質説が否定されたのは、イギリスの産業革命で熱を利用して動力を生み出す熱機関が現れたときであった。

その熱の基礎理論はカルノー(1796~1832)によって確立された。

--

--



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。
<https://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。
その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。

中部産遺研 第139回定例研究会

2016/03/20

於：名古屋市緑生涯学習センター第2・3集会室 参加：()名

会場にプロジェクター・スクリーンは借用します

13:00～

司会：柳田 哲雄、記録：漢人 省三

新入会員紹介

1. 研究報告、調査報告

[139-11-01] 「新美南吉の文学と生涯とゆかりの建築物」 水野信太郎・野口英一朗 (40分)

- ・新美南吉生家の現状と復元の経緯
- ・近世後期の農家・新美南吉の養家
- ・安城高女教員時代の新美南吉居室
- ・旧カプトビール工場(半田赤レンガ建物)の旧状

質疑 10分

[139-11-02] 「文献調査の方法」 朝井佐智子 (20分)

質疑 10分

休憩 10分

14:30～

[139-11-03] 「鉄道資料の整理法」 山田 貢 (20分)

質疑 10分

[139-11-04] 「産業遺産のPCデータ整理法」 石田正治 (20分)

質疑 10分

休憩 10分

15:40～

2. その他の諸報告、保存問題など

[139-21-01] 「データベース研究会」中間報告 天野武弘 (10分)

質疑 5分

[139-21-02]

3. 研究誌、会報(研究会ニュースレター)

[139-31-01] 研究誌『産業遺産研究第23号』について 浅野伸一 (5分)

[139-31-02] 会報ニュースレター 電子メール版の原稿募集 橋本英樹 (1分)

4. シンポジウム

[139-41-01] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 報告 山田貢（5分）

2016/02/21(日) トヨタ産業技術記念館 ホールA

テーマ「稼働遺産とその活用」－新たな展開を求めて－

■基調講演「産業遺産の評価と保存－「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録に関して－」

講師 清水憲一氏（九州国際大学特任教授）

■講演「現役の鉄道可動橋末広橋梁」講師 葛山拓也氏（四日市市教育委員会）

■講演「未だ稼働し続けるシャトル織機」講師 成田年秀氏（トヨタ産業技術記念館副館長・学芸員）

[139-41-02] 2016年度パネル展と講演会「東海の綿織物・毛織物と産業遺産」（仮）

寺沢安正（5分）

- ・第12回 2016年度パネル展 11月22日（火）～12月4日（日）予定（申込中）
- ・パネル展講演会 2016/11/27(日) 13:00～ 名古屋市都市センター予定（申込中）
- ・第1回 勉強会 2016/02/07(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第2回 勉強会 2016/04/10(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第3回 勉強会 2016/06/12(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第4回 勉強会 2016/08/07(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第5回 勉強会 2016/10/09(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F
- ・第6回 勉強会 2016/11/06(日) 14:00～16:30 名古屋都市センター13F

[139-41-03]

5. 見学会、その他の催し物

[139-51-01] 定例見学会「新美南吉生家、半田赤レンガ建物(旧カブトビール工場)、旧中埜家住宅」

日時：平成28年9月25日（日）午後12時45分より（荒天中止）

集合場所：名鉄河和線「半田口」駅（阿久比駅で特急から普通に乗り換えが便利）

運賃：名鉄名古屋～半田口片道(600円)

行き電車：内海行き特急(一部指定)～名鉄名古屋(12時11分発)～金山(12時15分発)～

神宮前(12時18分発)～阿久比(12時36分着)～河和行き普通へ乗り換え～阿久比(12時38分発)

～半田口(12時42分着) 半田口は普通のみ停車で、次が13時12分

行程：12:45 半田口駅～徒歩(15分程)～13:00 矢勝川と彼岸花(20分程)～徒歩(10分程)～

13:30 新美南吉生家(30分程)～徒歩(20分程)～14:20 軽食と半田赤レンガ建物(旧カブトビール工

場)(90分程)～徒歩(10分程)～16:00 旧中埜家住宅(60分程)～徒歩(5分程)～17:10 知多半田駅

(解散)～懇親会 18:00頃より予定(神宮前・金山)

帰り電車：佐屋行き特急(一部指定)～知多半田(17時13分発)～名鉄名古屋(17時44分着)

：新鵜沼行き急行～知多半田(17時23分発)～名鉄名古屋(17時58分着)

[139-51-02] 2016/03/29（火）小見学会「岐阜県神坂（みさか）風穴」（事務局）（3分）

小雨決行（荒天中止）（恵那山トンネル近く）案内：田口憲一

集合 JR 中央線恵那駅（10時30分頃） 名古屋9時24分 快速中津川行き

見学先：恵那市 山本風穴跡 同記念碑 東野蚕種所跡など（昼食各自持参）
中津川市 神坂風穴跡（3～4ヶ所） 解散予定 中津川駅（16時頃）

* 小雨決行です。現地は足下が良くないところもあります。汚れても良い格好、滑り止めに留意してご参加ください。（田口憲一氏から）

自家用車に分乗して見学：参加希望者は、①車提供して参加できる。②恵那駅に集合。どちらかを事務局大橋（メールか電話）まで連絡して下さい。締め切り 3/20 研究会でも希望を募ります。
参加者数により配車を相談させていただきます。大橋公雄 携帯電話 090-1095-8302

[139-51-03] 「定例研究会で見方調べ方や調査研究報告予定及び見学希望の用紙記入のお願い」

例会幹事（1分）

[139-51-04] 03/27「第2回さんぎ大学：日本のタオル」トヨタ産業技術記念館 天野武弘（2分）

[139-51-05] 07/24「第3回さんぎ大学：」トヨタ産業技術記念館 天野武弘（2分）

参加者からの近況報告～今取り組んでいる調査や研究及び産業遺産への思いを～

お一人3～4分以内 4～5人程

6. 文献紹介、資料紹介（ ）内は紹介者

【参考文献】

[139-61-01] 九州産業考古学会会報 NO.23 2015.11.11 （事務局）

[139-61-02]

【参考資料】

[139-62-01]

[139-62-02]

【その他の資料】

[139-63-01] 「地方史情報」127(2015.12)、図書目録(2015) 岩田書院 （事務局）

[139-63-02] 「鉄道がつくった日本の近代」高階秀爾共著 成山堂書店 （事務局）

7. 出版広報事業

[139-71-01] インターネット <http://csih.sakura.ne.jp/> 左記です。一度ご覧下さい。

[139-71-02] 中部産業遺産研究会の本

8. 委員会、役員会、研究分科会

[139-81-01] 幹事会・役員会等

（事務局）

2015年度(平成27年度)

- ・第1回幹事会 2015/06/16（メール）研究会の旗（ロゴマーク）の制作について
- ・第2回幹事会 2015/08/6（メール）研究会の旗（ロゴマーク）の制作について
- ・第3回幹事会 2015/08/6（メール）会計簿開示について
- ・第4回幹事会 2015/09/22（メール）会計簿開示について、旗の制作延期、会員の退会
- ・第5回幹事会 2015/10/27（メール）幹事会の日時、会場の案内

- ・第6回幹事会 2015/11/21 名城大学名駅サテライト 総会準備
- ・
- ・第1回役員会 2015/10/22 (メール) 役員会の日時、会場の案内
- ・第2回役員会 2015/12/13 名城大学名駅サテライト 総会準備
- ・第3回幹事会・役員会合同会議 2016/04/29 (金・祝) 10:00-16:00
名古屋市市政資料館第5集会室、総会準備
- ・監査 2016/04/03 (日) 13:00~16:30 東生涯学習センター 和室
- [139-81-02] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 実行委員会
- ・第1回 2015/03/22(日) 10:00~ 大同大学滝春校舎本館 14F 交流会室
- ・第2回 2015/5/17(日)10:00~ 名城大学 名駅サテライト
- ・第3回 2015/7/12(日)10:00~ 名城大学 名駅サテライト
- ・第4回 2015/11/22(日)10:00~ 名古屋都市センター

[139-81-04] 第12回 2016年度パネル展「東海の綿織物・毛織物と産業遺産」(仮)勉強会

- ・第1回 2015/02/07(日) 14:00~16:30 名古屋都市センター13F

[139-81-04] 研究誌『産業遺産研究第23号』編集委員会

- ・必要に応じて電子メールや電話にて開催

9. 総務・事務局関係

[139-91-01] 研究会スケジュール、関連団体スケジュール、他

- ・第139回例会 2016/03/20(日) 13:00~緑生涯学習センター 第2/3集会室
- ・産業考古学会第40回総会(2016年) 2016/05/21-22 横浜みなと博物館日本丸訓練センター
- ・第24回(2016年度)総会・第140回例会 2016/05/29(日) 13:00~
大同大学滝春校舎本館 14F 交流会室
- ・第141回例会 2016/07/24(日) 13:00~14:00 トヨタ産業技術記念館 ホールA
第3回さんぎ大学: 14:10~16:50 同上
- ・第142回例会/見学会 2016/09/25(日) 13:00~ 新美南吉生家、半田赤レンガ建物(旧カプト
ビール工場)、旧中埜家住宅を予定(詳細は3月例会で)
- ・第143回例会/パネル展講演会 2016/11/27(日) 13:00~ 名古屋市都市センター予定

[138-91-02] 会員異動()内は入会・退会の日 2016.03.01 現在会員数 131名(前年度+5)

- ・入会: 野村 千春(2015/11/22) 一宮市、興味関心: 糸結び。安江 篤志(2015/11/22) 瀬戸市、叔父が岐阜で養蚕をしていた。林久美子(2015/12/25) 岡谷蚕糸博物館学芸員、興味関心: 蚕糸業全般、染織技術全般。潮田智道(2016/03/04) 名古屋市、歴史、科学技術、政治経済、応用数学・論理学、技術士(建設部門)。
- ・退会: 高橋 進(2015/8/21)、山本信雄(2015/9/22) 逝去、

17:00 終了

五箇村川の樋門

大府市東部を流れる五箇村川にある樋門は、歴史的建造物であり、近代土木遺産でもあります。樋門が果たした役割などについて学びます。

- 日 時 3月12日(土曜日) 午後1時半～午後3時
- 場 所 歴史民俗資料館会議室1
- 講 師 天野 武弘氏
(愛知大学非常勤講師)
- 定 員 30人(先着順)
- 対 象 一般
- 料 金 320円



- 申込方法 歴史民俗資料館の窓口に料金を添えてお申し込みください。

※当日は記録用に写真を撮影します。撮影した写真を歴史民俗資料館の年報などに使用することをあらかじめご了承ください。

※歴史民俗資料館の駐車場には台数に限りがあります。

満車の際には、市役所の駐車場、または公共交通機関をご利用ください。

〔お申し込み・お問い合わせ先〕大府市歴史民俗資料館

所在地：大府市桃山町五丁目180-1 電話：(0562)48-1809

開館時間：午前9時～午後6時

休館日：月曜日・祝日・月末最終金曜日

ただし、2月8日(月)・2月11日(木・祝日)は開館します。